

日本情報考古学会

第33回大会

in Tokyo

日本情報考古学会第33回大会を下記の要領で開催いたします。今回の大会テーマは「文化財記録の新地平―課題と展望―」とし、それに関する特別講演・一般講演があります。それ以外の一般講演も多様な分野にわたる意欲的な研究成果が発表されることと期待しております。前回の大会に引き続き、意義ある大会としたいと考えておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。お誘いあわせのうえ多数ご参加くださいますよう、お待ちしております。

文化財記録の新地平

大会テーマ

課題と展望

2014.9.27土 - 28日

会場：東京農工大学 小金井キャンパス 工学部講義棟 L0022 教室

1日目 27日(土)

- 12:30 - 開場・受付
- 13:00 - 13:10 開会式
- 13:10 - 14:50 一般講演
- 14:50 - 15:00 休憩
- 15:00 - 16:20 一般講演
- 16:20 - 16:30 休憩
- 16:30 - 17:30 一般講演
- 18:00 - 懇親会

2日目 28日(日)

- 10:00 - 11:00 一般講演
- 11:00 - 12:00 特別講演
- 12:00 - 12:30 総会、学会賞授賞式
- 12:30 - 13:00 休憩
- 13:00 - 13:40 ポスターセッション
- 13:40 - 15:20 一般講演
- 15:20 - 15:30 閉会式

1日目

- 12:30 - 開場・受付
- 開会式 13:00 - 13:10 大会実行委員長 植村俊亮
- 一般講演 13:10 - 17:30
- 研究発表 1 少子高齢化社会の発掘調査―公開データから読む「すでに起こった未来」
岡安光彦 (株式会社西門 文化財事業部)
- 研究発表 2 前方後円墳築造に使用したもののさしの推定についての再考
西村 淳 (函館大学)
- 研究発表 3 古墳のデジタル計測における TIN 作成のアルゴリズムとその利点、欠点―岡山県小造山古墳と小くろ古墳の測量調査から―
庄 政典 ((株) アクアプランニング)
- 研究発表 4 三角縁神獣鏡の同型鏡の共存関係とネットワークの視覚化
杉本厚典 (大阪歴史博物館)
- 研究発表 5 鹿児島県内の古墳時代の須恵器の産地問題
三辻利一 (鹿児島国際大学)、新東見一 (南九州考古学研究所)、中村耕治 ((公財) 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)、永濱治 (鹿児島県立埋蔵文化財センター)、西園勝彦 (同)、上床 真 (同)
―休憩― 14:50 - 15:00
- 研究発表 6 新潟県上越市用言寺遺跡における災害履歴と人々の営み
―考古学と周辺諸科学の総合的研究―
加藤 学 (公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団)
- 研究発表 7 江戸城石垣遺跡の総合的研究 (1)
三瓶裕司 (公益財団法人かながわ考古学財団)
- 研究発表 8 北部九州の墓棺墓および墓地における行為の復元の試み
新屋敷久美子 ((公財) 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)
- 研究発表 9 認知科学に根ざした考古学的鑑識技能研究：意義と方法論を中心として
時津裕子 (徳山大学)
―休憩― 16:20 - 16:30
- 研究発表 10 沖縄県久米島具志川城跡の地球電磁気研究
酒井英男 (富山大学)、菅野明日香 (同)、米原実秀 (同)、岸田 徹 (同志社大学)、中島徹也 (久米島自然文化センター)
- 研究発表 11 考古学における「個人」に関する試論
―個人の検証的把握とその目指すもの―
平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)
- 研究発表 12 土器における同一製作者「個人」の高精度同定法
―方法論に関する暫定的まとめ―
中國 聡 (鹿児島国際大学)
- 懇親会 18:00 - ※当日受け付けます。ふるってご参加ください。

2日目

- 一般講演 10:00 - 11:00
- 研究発表 13 低視覚的属性からみる土器カテゴリーの復元
―製作者の態度に関する認知考古学的検討から―
黒木梨絵 ((公財) 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)
- 研究発表 14 九州弥生時代中期における丹塗裏の検討
―地域的変異の検出と比較から―
太郎良真妃 (鹿児島国際大学大学院)
- 研究発表 15 「折衷土器の製作者」再考
―土器における「折衷」のメカニズムと評価をめぐって―
平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)
- 特別講演 11:00 - 12:00
立体考古学の実践と展望
横山 真 先生 (株式会社ラング 代表取締役)
- 総会・学会賞授賞式 12:00 - 12:30
―休憩― 12:30 - 13:00
- ポスターセッション解説 13:00 - 13:40
- 一般講演 13:40 - 15:20
- 研究発表 16 香川県小豆島町福田地区における博物館活動の展開
川宿好見 (同志社大学文化遺産情報科学研究センター)
- 研究発表 17 考古学を多用した研究体験の実践
―鹿児島国際大学における日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス」の活動等に際して―
若松花帆 (鹿児島国際大学)、平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)
- 研究発表 18 古文書字形検索サーバの設計と試作
末代誠仁 (岐阜大学)、白井啓一郎 (信州大学)、馬場 基 (奈良文化財研究所)、渡辺晃宏 (同)、井上 聡 (東京大学史料編纂所)、久留島典子 (同)、中川正樹 (東京農工大学)
- 研究発表 19 手書き文字認識手法を用いたロンゴロンゴ記号の類似度
山口文彦 (慶應義塾大学理工学部情報工学科)
- 研究発表 20 矢われた言語チュノムによる古文書の完全電子化に向けて
15:00 - 15:20 中川正樹 (東京農工大学)、Phan Van Truyen (同)
- 閉会式 15:20 - 15:30 会長 植木 武
- 研究発表 21 土器胎土の個体内均質性
―民族考古学・実験考古学・先史考古学的研究素材の蛍光 X 線分析―
中國 聡 (鹿児島国際大学)
- 研究発表 22 土器形態における低視覚的属性の検討と有効性
―低視覚的属性間の相関性―
黒木梨絵 ((公財) 鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)
- 研究発表 23 土器胎土の個体内均質性
―民族考古学・実験考古学・先史考古学的研究素材の蛍光 X 線分析―
中國 聡 (鹿児島国際大学)
- 研究発表 24 鹿児島県内の平安時代の須恵器の産地問題 (第1報)
―中岳窯跡群、荒尾窯跡群、岡野窯跡群出土須恵器の相互識別―
三辻利一 (鹿児島国際大学)、中國 聡 (同)、平川ひろみ (鹿児島国際大学大学院)、太郎良真妃 (同)、白井菜実 (同)、鶴田京佑 (同)、下小牧 潤 (鹿児島国際大学)

＜お問い合わせ＞

〒891-0197 鹿児島市坂之上 8-34-1

鹿児島国際大学中園聡研究室内
日本情報考古学会事務局

日本情報考古学会 URL: <http://www.archaeo-info.org/>

E-mail: archaeoinfoiuk@gmail.com

